

山形県科学技術奨励賞について

1 目的

科学技術に関して優れた研究成果をあげた若手研究者を表彰し、研究意欲の向上を図るとともに、将来の研究者の確保に資することを目的とする。審査は、外部有識者 6 名による山形県科学技術奨励賞審査委員会において行う。

2 表彰の対象

表彰は、次の各号に該当する者を対象とする。

- (1) 本県内において科学技術の研究開発に従事しているもしくは従事したことがある平成 24 年 4 月 1 日現在において 40 歳未満の者
- (2) 次のいずれかに該当し、県内産業の振興及び県民生活の向上に資する研究成果をあげた者
 - イ 技術開発に関し、優れた研究成果をあげた者
 - ロ 新しい現象、有用物質の発見、有用品種の育成等を行った者
 - ハ 新しい理論解析、実験手段、測定方法等を創業した者
 - ニ 有用データの収集、解析、評価を行い、優れた結果を得た者
- (3) 禁錮以上の刑に処せられたことのない者

但し、一の年度につき表彰者は 3 名以内。

3 平成24年度の受賞者

受賞者	研究概要
スパイバー株式会社 代表取締役社長 関山和秀	微生物によるクモ糸タンパク質の人工合成に成功し、それを生産するシステムを開発した。また応用面でも既に紡糸技術を開発している。
スパイバー株式会社 取締役最高技術責任者 菅原潤一	さらに遺伝子工学的手法により、クモ糸タンパク質の物性を、カスタマイズする技術開発を行っており、脱石油材料として、将来、多種多様な産業分野への応用が期待されている。
山形県工業技術センター 庄内試験場 主任専門研究員 菅原哲也	本県の地域農産物（オウトウ、食用ギク、赤ネギ、日本ナシ、庄内柿、サトイモ）を対象に機能性を解明し、その特性を活かした食品開発を県内企業等と連携して行った。また本県産柿酢に、特異的に含まれる機能性成分オルニチンを生成する菌株を特定する等、本県農業や食品加工分野等の産業振興に大きく貢献している。

(敬称略)